

令和4年第1回定例会・一般質問

○日 時 令和4年3月9日（水）午前9時～

○質問者及び質問の要旨

質問 順位	質問者	質問の要旨	開始 時間
1	河村 仁志	<p>1. 社会福祉法重層的支援整備事業の関連について（福祉課） 令和3年4月に社会福祉法が改正された。市町村において、地域住民の複合化・複雑化した支援ニーズに対応する包括的支援体制を整備するため、対象者の属性を問わない相談支援、多様な参加支援地域づくりに向けた支援を一体的に行う重層的支援体制整備事業を実施するように定められた。</p> <p>地域共生社会の実現のための社会福祉法の一部改正の5本柱の内容は、行政主体の内容ですが、町民との今後の取り組みについての考え方を問う。</p> <p>(1) 地域共生社会とはどのような将来像で捉え、また今後どのような取り組みで進めるのか。</p> <p>(2) 支え・支えられる関係の循環、地域における人と支援の循環、全ての人の生活の基盤としての地域は地域特性を活かしながらどのように取り組むのか。</p>	9:00
2	安道 泰治	<p>1. 智頭農林高校の存続について（教育課・企画課）</p> <p>(1) 具体的な支援策や県外からの通学費助成についての今後の対策と進捗を問う。</p> <p>(2) 県外、町外から農林卒業生へのおせっかい奨学金制度の適応の考えはないか。</p> <p>2. 持続可能な交通体系の構築について（企画課）</p> <p>(1) 共助交通の進捗とすぎっ子バスの廃止時期との関係を問う。</p> <p>(2) AI乗合タクシー実証実験後のドライバーの確保や報酬額・車の台数・端末の課題に対する具体策を問う。</p>	9:45

質問 順位	質問者	質問の要旨	開始 時間
3	大河原 昭洋	<p>1. 少子化、人口減少対策について（企画課・税務住民課） 少子化、人口減少の進行は、本町における経済活動の縮小やコミュニティ機能の低下、行財政サービスの縮小など、町民生活の様々な分野に大きな影響を及ぼすことが予想される。 (1) 若者定住の具体的方策を今後どのように考えているのか。 (2) Uターン、孫ターン施策を推進する考えは。 (3) 多子世帯への経済的支援の考えは。</p> <p>2. 小水力発電と環境問題について（企画課） 本町は鳥取砂丘を育んだ源流の森も広がり、水資源が豊富という地形的な特徴を備えている。過疎化、高齢化が進む農山村地域を活性化させるためにも地域の特性を生かした取り組みが重要と考える。 (1) 小水力発電の導入は地域活性化に有効と考えるが、推進する考えは。 (2) 脱炭素社会の実現に向けて今後どのように進める考えなのか。</p>	10:25
4	宮本 行雄	<p>1. 公共施設総合管理計画について（総務課） 智頭町が保有管理する公共施設等が、老朽化しており、一層の適正管理が求められる。 (1) 旧町民体育館についての方向性、活用策を具体的に、どのように考えているか。 (2) 旧あたご保育園についての方向性と具体的な活用方法についての考えは。 (3) 旧山郷公民館についての方向性と具体的な活用方法についての考えは。 (4) 施設の表に記載されていないが、智頭町下町の農協倉庫跡地と建物を含め、これらをどのように活用されるのか、方法などについての考えは。</p>	11:10
5	波多 恵理子	<p>1. 人口減少対策について（企画課） (1) 昨年公表された国勢調査の結果、本町では5年前と比べマイナス10.2%の減少率、人口増減率ではマイナス2.9で、県内市町村の中でもワースト1である。この主な要因について町長はどのように考えているか。 (2) 智頭町総合戦略において、2040年の目標人口を5,000人と定め、この目標達成のために、合計特殊出生率の向上、社会移動の差をゼロ、Uターン施策を積極的に行うこととしているとある。移住定住における空き家の活用をどのように考えているのか。 (3) 移住・定住対策の更なる強化が必要と考えるが、町長の所見を伺う。</p>	13:00

質問 順位	質問者	質問の要旨	開始 時間
6	田中 賢	<p>1. 町民の健康づくりについて（福祉課）</p> <p>(1) 智頭町は第7次総合計画による健康に関して（一人ひとりの人生に寄り添えるまちへ）と「智頭町ならではの自然やつながりで健康長寿な暮らし」が施策にあげられているが、具体的にどのような成果があり、また今後の取り組みについてどのように考えているか。</p> <p>(2) 町民が健康で明るい生活を過ごすための身体づくりの施設として、町内にある施設を活用して、理学療法のリハビリと初動負荷トレーニングを併せたりリハビリセンターを開設し、より健康な町づくりに取り組む考えはないか。</p>	13:40
7	岡田 光弘	<p>1. 図書館を核としたまちづくりについて（教育課・企画課）</p> <p>(1) オープン後、1年経過した「ちえの森ちづ図書館」の利用状況は当初の想定に比較しどうか。</p> <p>(2) 基本構想、基本計画、サービス計画が策定されているが、その中の基本コンセプト、図書館の役割、ありたい姿について現在までの成果と見えてきた課題について伺う。</p> <p>(3) 一定の成果を見せている新図書館を今後のまちづくりにどのように活かしていくのか、将来的な展望と町と住民が一体となった具体的な取り組みについて問う。</p> <p>2. アフターコロナを見据えたまちづくり戦略について（企画課）</p> <p>(1) 少子高齢化と人口減少が同時進行する中で、智頭らしい持続可能な地域社会をどのように実現していこうとしているのか。</p> <p>(2) 智頭町第7次総合計画、智頭町総合戦略をはじめ、様々なプランの中で目標に対する実績や結果が当初の計画を下回っているものに対して PDCA サイクルを有効に回す中で町として、どのように戦略の見直しを図っていくのか。</p>	14:20

質問 順位	質問者	質問の要旨	開始 時間
8	藤田 浩祐	<p>1. 智頭町複業協同組合について（企画課・山村再生課）</p> <p>(1) 地域人口の急減に直面している地域において、農林産業・商工業等の地域産業の担い手を確保するため、政府の特定地域づくり事業推進法に基づき「特定地域づくり事業協同組合」が設立された。町内9事業所が参加し、雇用は10人程度を想定とあったが「智頭町複業協同組合」になり、どのように進めていくのか。</p> <p>(2) 今後の展望をどのように考えているのか。</p> <p>(3) 各事業者の職種に、雇用者をどう適合させるのか。</p> <p>2. 県立智頭農林高校について（企画課）</p> <p>(1) 存続が懸念されている智頭農林高校の魅力化推進プロジェクトは、単年度事業として今年度で終了となっているが、今後どのような方針や事業内容で取り組んでいくのか。</p>	15:05

○日 時 令和4年3月10日（木）午前9時～

○質問者及び質問の要旨

質問 順位	質問者	質問の要旨	開始 時間
1	西尾 寿樹	<p>1. 杉の町、智頭町の未来について（山村再生課）</p> <p>(1) 智頭の山と暮らしの未来ビジョン基本方針である未来へのアクションの中で、山に寄り添う豊かな山村資源を活かした暮らしの創出とあるが、どのような考えで進めて行くのか。</p> <p>(2) 広葉樹ではなく、針葉樹である杉の間伐材を活して、家庭用の薪ストーブの薪として推奨しては。</p> <p>2. 外来種の駆除のイベント化について（山村再生課）</p> <p>(1) 芦津溪谷での外来種（ブラウントラウト）の駆除を、大物釣り大会のイベントにしては。</p> <p>3. 智頭病院の今現在の運営状況について（智頭病院）</p> <p>(1) コロナ禍で、外来診療を控える方がいるが、その方々にどうアプローチし、どのような対策を取っていくのか。</p> <p>(2) 病院の電子カルテ、パソコンなどのセキュリティ対策はどうか。</p> <p>(3) 5Gを搭載したコネクティッドカーでの、遠隔診療を将来的に導入する考えは。</p> <p>(4) 院内でクラスターが発生した場合の、危機管理体制はどうか。</p>	9:00

質問 順位	質問者	質問の要旨	開始 時間
2	仲井 莖	<p>1. 多様な学びについて（教育課）</p> <p>(1) SDG s 教育目標の実施について 智頭町独自の取り組みは。</p> <p>(2) 子どもの自己肯定感について 智頭町としての認識を問う。</p> <p>(3) 今後の展望 多様な子どもたちを誰一人取り残すことのない公正に個別最適化された学びや創造性を育む学びをどのように進めていくのかを問う。</p> <p>2. 家庭教育・こども家庭庁 家庭の問題点について（教育課）</p> <p>(1) こども庁からこども家庭庁に名称が変更になり、智頭町としての影響や、今後の組織のあり方をどのように考えているのか。</p> <p>(2) 親学について 親学の認識と親学がもたらす影響について見解を問う。</p>	9:35
3	谷口 翔馬	<p>1. 告知端末について（企画課）</p> <p>(1) 今年度末には、全町に配置される予定である告知端末の今後の可能性を町長はどのように考えているのか所見を問う。</p> <p>(2) 町民の利用促進のための方策は何か考えているか。</p> <p>2. おせっかい奨学金について（企画課）</p> <p>(1) 卒業後のフォローについては、何か考えているのか町長の所見を問う。</p> <p>3. 公式SNSの活用について（企画課）</p> <p>(1) 若者目線での情報発信をしていく考えはないか町長の所感を問う。</p>	10:25

※開始時間は、議事進行状況により変動する場合があります。

※傍聴を希望される方は、議会事務局で所定の用紙に必要事項をご記入ください。